

平成22年度財団法人 富山市ファミリーパーク公社事業報告

財団法人富山市ファミリーパーク公社は、「動植物に関する知識の普及と野外レクリエーション等を通じて市民の健全な余暇活動に役立てる」という、富山市ファミリーパークの設立趣旨に基づき事業の推進に努めた。

近年は、「人を元気に、森を元気に、いのちを元気に、地域を元気に」をコンセプトに動物や里山の資源を活用するとともに、呉羽地域等との連携の強化を図り、市民が気軽に訪れ、楽しめる事業の充実を目指した。

平成22年度は、富山市が進めていたファミリーパーク新整備計画の策定に積極的に加わるとともに、他施設・団体・学校等との協同企画事業や教育活動を推進するなど、指定管理者としての事業運営に努めてきた。

1 入園者状況について

平成22年度の入園者状況については、年間を通して254,080人の入園者があり、25周年記念事業等を行い入園者の多かった平成21年度と比べると2万4千人の減となった。要因としては、特に夏場の猛暑や、土・日が雨天となることが多かったことなどによるものと思われる。秋以降、広報活動やPR事業を積極的に行い、通年開園となった一昨年、平成20年度とほぼ同じ入園者となった。

2 実施事業について

平成23年3月15日、里山にくらす動物たちの姿や生活を自然に近い状態で観察できる新展示施設「里山生態園」の一部公開が始まった。

動物事業は、97種645点(平成23年3月31日現在)の動物飼育展示を行い、日本産動物や希少野生動物の種の保存や教育普及に取り組んだ。また、緊急雇用創出事業を活用し、在来馬による乗馬やホースセラピーなどの体験事業の充実を図った。また、ニホンライチョウの保護繁殖を目指して、ノルウェー産のスバルバルライチョウの飼育展示・繁殖に取り組むとともに、生息地の環境保全の重要性について啓発した。さらに国内の他の飼育園館などとの情報交換のためのネットワークの構築にも努めた。

里山事業では木の実や野草を用いた教室活動、わくわく田んぼやウォーキングなど里山を活用した事業を行った。また、里山景観整備事業により、明るく美しい竹林整備を行った。さらに、地域の人たちによるホタルの保全活動や、市民いきものメイトによる市民活動なども継続して実施した。

地域事業は、地域社会と連携して呉羽丘陵に新しい里山のモデルを創り出す「くれは悠久の森」事業に積極的に参画した。4年目の平成22年度は、48の団体・個人が関わり、地域の人や施設と協同で呉羽丘陵の魅力を発信することを目的に、ファミリーパークをメイン会場としたフェスタ「悠久の森2010 森と語ろう」を開催し、1万人以上の市民で賑わった。また、複数の施設が連携した、くれは里山ネット事業を企画し、11回実施した。

近年は、当財団だけの力ではできない企画事業を、自治振興会をはじめとした地域の諸団体、市や県の関連施設、大学、高校、小中学校、NPO法人、他諸団体と協同で実施する事業や、当財団のコンセプトにあった企画を企業の協賛や共催事業として実施する事例も定着してきた。

こうした事業は、単に事業コストを下げるばかりでなく、他施設や企業間との連携を通して、より幅と奥行きのある事業展開を可能とし、多様な入園者が見込まれることから、今後も充実を図っていきたいと考えている。

また、平成21年度から開始したふるさと雇用再生特別基金を活用したファミリーパークPR事業を引き続き推進し、富山市内はもちろん市外の幼稚園・保育所にもPRを実施した。

3 経理状況について

一般会計については、収入は事業受託収入、補助金収入等で418,181千円があり、支出は施設の維持管理や人件費等の施設管理費と動物管理費で、371,149千円、催物等の事業費で26,637千円、退職給付引当金で16,345千円あり、合計で414,131千円となった。差引余剰金、4,050千円と利息等612千円を合わせた4,662千円については市へ返還する。

特別会計は食堂・売店の販売収入、自販機使用料、ベビーカー使用料などがあり、総収入は23,638千円となった。キッズコーナーなど設備の投資等を行い、当期収支差額540千円となり23年度への繰越収支差額は2,669千円となった。今後はさらにサービスの向上を図る。

1. 施設利用状況

(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

区 分		人 数	金 額
入 園 者	個人・大人	67,850 人	33,925,000 円
	70歳以上	510 人	127,500 円
	団体・大人	12,705 人	5,082,000 円
	年間利用券	596 人	894,000 円
	共通パスポート	5,858 人	
	有料計	87,519 人	40,028,500 円
	無料計	166,561 人	
入 園 者 計		254,080 人	40,028,500 円
遊具使用者	子供列車	13,940 人	2,788,000 円
	アニマルコースター	13,997 人	2,799,400 円
	メリーゴーランド	12,762 人	2,552,400 円
	パラトルーパー	15,816 人	3,163,200 円
	キャラクターカー	12,084 人	2,416,800 円
	ボート	3,215 人	1,286,000 円
	メロディーペット	2,313 人	462,600 円
	電気周遊車	16,849 人	1,684,900 円
	馬車	3,636 人	727,200 円
	フリー券		2,023,000 円
	遊具使用(有料)計	94,612 人	19,903,500 円
	遊具使用(無料)計	5,255 人	
遊 具 使 用 者 計		99,867 人	19,903,500 円
合 計			59,932,000 円

2. 動物事業

(1) 飼育管理事業

日本産動物及び外国産希少野生動物の飼育展示の充実や繁殖技術の確立、並びに日本在来家畜の保存活用に努めた。

日本産小型哺乳類ではホンドタヌキが開園以来始めて自然繁殖に成功したほか、新規に日本在来馬のひとつである野間馬や、オス個体のみであったシンリンオオカミについてメス個体を導入した。

一方、グレビーシマウマの新生児やフンボルトペンギンなどの人気動物が死亡し、飼育管理や繁殖研究について再検討し、再発防止の対策を実施した。

事業内容		備考	
飼育管理	飼育動物数(平成 23 年 3 月 31 日)		97 種 645 点
	内訳	哺乳類	48 種 324 点
		鳥類	37 種 223 点
		爬虫類	5 種 21 点
		両生類	1 種 5 点
		魚類	5 種 42 点
		昆虫	1 種 30 点
	平成 22 年度	増加動物の種数	35 種 83 点
		減少動物の種数	24 種 82 点
	血統登録動物の種数		15 種 50 点

(2) 里山生態園事業

富山市の整備事業である里山生態ゾーンの外周柵や展示エリアの整備工事が平成 23 年 2 月に完了した。展示動物であるニホンザル、ニホンカモシカ、ホンドタヌキを施設に移動、馴致し、里山生態園を平成 23 年 3 月 15 日より一部公開した。

また、自然観察舎での展示については継続してモグラの捕獲やホタルの採集などを行い、飼育・展示実験を実施し、展示計画を推進した。

(3) ライチョウ保護増殖事業

スバルライチョウの飼育展示に取り組む一方で、生息地であるノルウ

エーの生息地調査や研究施設の視察などを実施した。その結果、受精卵を譲り受け、その孵化・育雛に取り組み、13羽のヒナの成育に成功した。さらに、上野動物園からのメス個体の導入なども行い、飼育・繁殖技術の研究と蓄積を進めた。

(4) 繁殖事業

タヌキ、ムササビ、モモンガ、ノウサギなどの日本産哺乳類が繁殖したほか、キリン、ミーアキャットなどが繁殖した。また、ツシマヤマネコ、ニホンカモシカ、レッサーパンダなどの希少野生動物の繁殖研究を推進した。

主な繁殖動物

動物名	繁殖頭数	完全成育	繁殖区分	繁殖年月日
アミメキリン	1	1	自然	4/2
ツシマヤマネコ	3	0	自然	4/27
ホンドタヌキ	6	6	自然	5/13
フンボルトペンギン	3	0	自然	5/17
ミーアキャット	6	3	自然	5/30
ヤギ(シバ種)	2	2	自然	7/23
トウホクノウサギ	3	0	自然	8/12
スバルバルライチョウ	27	13	人工	8/1, 8/2
グレビーシマウマ	2	0	自然	9/23, 11/26
パルマワラビー	1	1	自然	2/21
ワオキツネザル	1	1	自然	3/8
合計	11種 55点			

ブリーディングローン（繁殖を目的とした動物の貸し借りの契約）

	動物名
借り受け動物	リスザル・ワオキツネザル・アムールトラ・アムールヤマネコ・シセンレッサーパンダ・ユーラシアカワウソ・アミメキリン・ニホンカモシカ・シンリンオオカミ・オグロプレリードッグ・ニホンコウノトリ・ベニコングウインコ・タンチョウ・フンボルトペンギン・スバルバルライチョウ <u>11種18点</u>
貸し出し動物	ニホンカモシカ・グレビーシマウマ・シンリンオオカミ・フンボルトペンギン・スバルバルライチョウ <u>5種9点</u>

(5) 展示事業

「里山生態園」を一部公開し、ニホンザルを主とした里山の動物を展示したほか、動物の躍動的な行動を紹介するために、ニホンリスの新規展示を実施した。また、スバルライチョウやダマジカなどの新規動物の展示も行い、展示の充実を図った。

事業内容	備考
スバルライチョウの公開	平成 22 年 4 月開始
野間馬の展示	平成 22 年 4 月開始
特別展 干支展 2011「ウサギ」	平成 22 年 12 月開始
行動展示「リスの回廊」	平成 23 年 3 月開始
新展示「里山生態園」	

(6) 教育普及事業

動物の能力や魅力を紹介するために各種の動物ガイドをはじめ、ごつくんタイム、「飼育の日」、夏季・冬季や全園的なイベント時などに特別ガイドを実施した。在来馬を活用した馬車や乗馬などの実施のほか、子供動物園での小動物のふれあいの実施をとおして、人と動物のかかわりや命の大切さを伝えた。

また、小中学校の総合的な学習や「14 歳の挑戦」などの職場体験や高校・大学の課外実習、教員研修などを受け入れ、動物を通じた教育事業を実施した。

事業名	実施回数	参加者数
① どうぶつガイド		
キリンの木の葉ガイド	61 回	3,119 名
キリン舎探検ガイド	25 回	150 名
ペンギンのお散歩	27 回	3,908 名
オオカミ洞穴ガイド	102 回	1,327 名
郷土動物館ガイド	25 回	110 名
ライチョウガイド	25 回	81 名
ニワトリガイド	6 回	54 名
ニホンリスガイド	6 回	72 名
里山生態園ガイド	6 回	139 名
② 子供動物園事業		
コンタクトコーナー	341 回	47,014 名
動物なるほど教室	36 回	2,071 名

③在来馬による「働く馬」事業		
ポクポク馬車（ばん馬）	473回	4,362名
ゆらゆら乗馬（木曾馬）	3427回	3,427名
ミニ乗馬レッスン	19回	17名
木曾馬乗馬教室	8回	8名
お馬のさんぽ	19回	399名
わくわく田んぼの田起こし（木曾馬）	2回	52名
④障害者乗馬会「馬はともだち ふれあい乗馬会」	4回	53名
⑤ごっくんタイム	342回	28,264名
⑥イベント事業		
a. 飼育の日 ・パネル展「飼育係、解剖!!」 ・飼育係の七つ道具 ・君も飼育係に変身 ・動物舎探検ガイド	12回	182名
b. ゴールデンウィーク ・ライチョウスタンプラリー ・キリン命名式 ・パネル展「ライチョウを守れ」 ・パネル展「野間馬がやって来た」 ・ライチョウガイド ・ヒツジの毛刈り	27回	8,742名
c. ホテルと夜とファミリーパーク ・動物スポットガイド	2回	1,890名
d. 夏の夜間開園 ・動物スポットガイド ・サンセット乗馬 ・カモシカの森ツアー	79回	7,545名
e. 夏休み ・お泊まり動物園と吹きガラス体験（共催） ・どうぶつたちにひえひえおやつプレゼント ・子ヤギれあいタイム ・自由研究おたすけシート	92回	3,336名
f. 悠久の森 2010 ・シカ角ストラップづくり ・アニマルフェイスペイント ・木曾馬田起こし体験	3回	164名
g. 輝けいのちの集い 2010 ・飼育相談 ・動物とのふれあい	2回	115名

h. 干支展 2011「ウサギ」 ・ウサギのフォトスタジオ ・パネル展「ウサギの不思議」 ・いろいろなウサギ大集合	97 回	1,027 名
i. クリスマス夜間開園 ・動物たちにクリスマスケーキをプレゼント ・ツシマヤマネコのパネル展 ・ウサギ、モルモットのコンタクトコーナー ・木曾馬サンタと記念写真	5 回	59 名
⑦ファミリーパーク動物友の会 例会	4 回	59 名
⑧教育事業		
a. 実習・研修	27 回	769 名
b. 園内解説	1 回	21 名
⑨第 26 回富山市ファミリーパーク動物写生大会	1 回	114 名
⑩第 34 回動物愛護に関する標語の募集	1 回	38 名
⑪協賛・共催事業		
富山市「花と緑のフェスティバル」(協賛)	1 回	350 名
みんなの環境フォーラム in とやま(共催)	1 回	51 名
とやまっ子みらいフェスタ	1 回	未集計
地球を考える 3 日間 COP10 ポスター展	1 回	未集計
とやま環境フェア 2010	1 回	未集計
親子でお散歩 スマートフォンで園内探検(共催)	4 回	148 名
親子動物ふれあい教室(協賛)	1 回	132 名
⑫研究会等の開催		
第 2 回 ESD 富山シンポジウム	1 回	132 名
合計	4,976 回	91,237 名

(7) 調査研究事業

(社)日本動物園水族館協会の研究会および日本野生動物医学会で研究成果を発表し、研修会などへの講師派遣や、富山県内のカモシカ調査・その他の動物調査依頼、各種委員会の委員委嘱などを受諾した。

3. 里山事業

(1) 里山活用事業

総合的な学習やわくわく田んぼなどの事業や、落ち葉のプール、緑のカーテンなどパークの里山や自然を活用した教育活動等を行った。

事業名	実施日数	参加者数
①タケノコ掘り体験	5日	240名
②動物あしあと雪あそび	2日	121名
③森の四季彩フォト写真教室	1日	63名
④よみがえれ里池プロジェクト	1日	30名
⑤ゴールデンウィーク里山ガイド	6日	625名
⑥わくわく田んぼ	22日	1,025名
⑦南砺市吉江中学総合的な学習「奉仕活動」	1日	76名
⑧実習・研修	5日	211名
⑨高岡市立中田小学校1年生生活科校外学習	1日	56名
⑩星槎国際高校「里山ガイド」	1日	22名
⑪北日本ナチュラリスト同好会園内ガイド	1日	24名
⑫富山地区ビーバー隊「動物ガイド」	1日	54名
⑬赤田町内会「動物ガイド」	1日	47名
⑭富山社交倶楽部「動物里山ガイド」	1日	17名
⑮応用生態工学会「里山ガイド」	1日	35名
⑯東京大学文化資源学研究室「里山ガイド」	1日	22名
⑰落ち葉のプール	56日	215名
⑱落ち葉で絵を描こう	56日	180名
⑲緑のカーテン（ゴーヤ・アサガオ）	122日	——
⑳ソロプチミスト ソメイヨシノ植樹	1日	——
自然散策路・自然体験展示	常時展示	——
自然だより	随時更新	——
合計		3,063名

(2) 里山保全管理事業

ハーブ坂で採れたラベンダーを活用した行事を行った。また園内の六泉池に生息する外来魚であるブラックバスの駆除や、外来植物であるマルバフジバカ

マの除去活動を行った。

(3) 里山整備研究事業

国の緊急雇用事業により園内の竹林整備を行ったほか、絶滅危惧種ホクリクサンショウウオ、ギフチョウの生息環境整備や、食餌植物であるカンアオイの移植を行った。また生物多様性を図るため、アキグミの移植や園内に生息するムササビ、フクロウのために巣箱を設置し、その利用状況を調査した。

事業名	実施日数	整備面積
ファミリーパーク里山景観整備事業	6か月	7,200 m ²
ホクリクサンショウウオ生息環境の整備	3か月	100 m ²
カンアオイ・アキグミの移植	7日間	50 m ²
ムササビ・フクロウ巣箱設置および利用調査	3か月	——

4. 地域事業

(1) くれは悠久の森事業

平成19年度から立ち上げた「悠久の森実行委員会」に積極的にかかわり、くれは悠久の森事業を通じて、地域施設や住民と連携をとった事業にも積極的に取り組んだ。

事業名	実施日数	参加者数	
①悠久の森実行委員会（役員会、部会を含む）	6日	257名	
②イベント準備（参加団体への説明会など）	1日	24名	
③悠久の森2010 森と語ろう	2日	10,659名	
④悠久の森長尾園事業（開園式、整備等）	2日	24名	
⑤くれは悠久の森 連携事業（くれは 里山ネット）	春の里山！史跡探訪ウ オーク	1日	39名
	縄のルーツを旅しよう	1日	11名
	じゃがいも掘り体験	1日	28名
	お泊り動物園と吹きガ ラス体験	4日	14名
	夏休み梨狩り体験とフ ァミリーパーク散策の 集い	2日	104名
	サツマイモ掘り体験	1日	40名
	呉羽そば「食」プロデ ュース	2日	7名
	冬野菜鍋の振る舞いと 青空市	2日	159名
	あなたの蕎麦に	1日	15名
	ノルディックウオーク 【冬の里山を歩こう】	1日	12名
合計		11,393名	

(2) 輝け！いのちの事業

9月23日に、富山市ファミリーパークと「輝けいのちの協議会」の主催で、命の大切さの啓発を目的としたイベントを実施した。

事業名	実施日数	参加者数
①輝けいのち協議会	8日	101名

②イベント準備（参加団体への説明会など）	1日	20名
③「輝け！いのちの集い 2010～みんなでいのちを感じる日～」	1日	616名
合計		737名

(3) 地域連携事業

地域の関係施設や団体と連携した事業に積極的に取り組んだ。

事業名	実施日数	参加者数
①家庭菜園ファミリー講座	5日	339名
②食べキリン特別住民票交付式	1日	170名
③ガールスカウトふれあいの日	1日	160名
④アースディとやま・アースディ講座「ライチョウの多様性と保全」	1日	59名
⑤アースディ富山 2010	1日	250名
⑥みんなの環境フォーラム	1日	51名
⑦出会いふれあいめぐりあい	1日	87名
⑧親子デジカメ講座	1日	20名
⑨東大文化資源学課外授業の受入	2日	22名
⑩県博協クイズラリー	31日	10名
⑪スマイリングイベント in 富山	1日	202名
⑫ペーパークラフト教室「ぼく、わたしの動物園」	1日	23日
⑬親子でチャレンジ！！「森のフォト四季彩写真教室」	1日	63名
⑭夏休みわんぱくどろんこ隊	1日	85名
⑮JAF イベント「今、自然を考える」	1日	30名
⑯「勝たーれ！カターレ！In ファミリーパークスタジアム」	5日	760名
⑰応用生体工学会中の視察	1日	35名
⑱結婚式「動物園 Dream Bridal」	1日	40名
⑲プラス 1000 歩 富山市民運動健康づくり	1日	271名

⑳とやま健康ウォーク 2010	1日	700名
㉑セッション「竹取物語と里山再生」	1日	30名
㉒古沢保育所体験活動	6日	153名
㉓古沢小学校 総合的な学習	3日	33名
㉔ESD 富山シンポジウム	1日	132名
合計		3,725名

(4) ボランティア活動支援事業

市民団体や企業による園内でのボランティア活動を支援するとともに、活動の園内誘致に努めた。

事業名		実施日数	参加者数
①市民いきもの メイト活動	フィールド活動(炭焼き、天蚕飼育など14活動)、「悠久の森」運営など	128日	426名
	クラフト教室	12日	280名
②呉羽丘陵にホタルを呼ぶ会活動		7日	97名
③きんたろう倶楽部	通常総会	1日	66名
	NPO 法人設立準備委員会(拡大役員会も含む)	4日	53名
	臨時総会 (NPO 法人設立総会も含む)	1日	113名
	未来を灯すとやまキャンドルナイトの準備 (竹灯籠づくり)	3日	66名
	第3回 森林と人シンポジウム	1日	350名
④ボランティア活動	日本海ガスグループ	3日	108名
	古沢地区ボランティア	5日	225名
合計			1,784名

(5) 活性化事業

ゴールデンウィークや夏休み、秋、冬、春の開園など時季に合わせた事業を実施した。

事業名	実施日数	参加者数	
①パステルアート	母の日に贈るメッセージカードづくり	1日	63名
②開園記念日イベント	里ノ助の一日園長(記念写真撮影)	1日	418名
	ナミナラ共和国パスポート発行	1日	14名
③GWイベント	GWも里ノ助とあそぼう	6日	594名
④ホテルと夜とファミリーパーク	ホテルの夕べ	2日	280名
⑤夏期夜間開園イベント	カターレ富山サッカースクール	1日	28名
	コウモリ観察会	3日	93名
	昆虫観察会	3日	135名
	ネイチャーゲーム「音と自然」	2日	39名
	里ノ助とあそぼう	2日	230名
	水辺のオカリナ演奏	2日	225名
	天体望遠鏡で月・惑星・夏の星々を楽しもう!	2日	191名
	スイカの種飛ばし競争	2日	65名
	竹の短冊に願い事	2日	67名
浴衣 de ファミパ	4日	288名	
⑥里ノ助とあそぼう冬スペシャル「冬も元気な里ノ助」		1日	30名
⑦お弁当コンテスト ～秋を楽しもう～	募集	30日	66名
	「仲良しペンギン弁当」をつくろう	1日	18名

⑧冬期開園 イベント	スタンプカード	82日	482名	
	クリスマス イベント	里ノ助クリスマスケーキをつくります	1日	30名
		クリスマス音楽界 (ハンドベル)	1日	80名
		里ノ助とダーツを 楽しもう	2日	45名
		パステルアートでク リスマスカードをつ くろう	2日	45名
	正月イ ベン ト	お餅つき体験	1日	70名
		おもいでウサギをつ くろう	1日	30名
		お餅の振る舞い	1日	180名
		オカリナミニコンサ ート	1日	45名
	バレンタインイベント 「チョコペンで動物を描 こう」	3日	230名	
	ウサギのお面、折り紙づ くりコーナー	55日	2060名	
⑨春開園 イベント	里山生態園オープニング イベント	1日	71名	
	みんなで昔あそび	2日	70名	
	ランチタイムミニライブ	2日	60名	
	人形劇「オオカミとヒツジ のなんでも屋」	3日	143名	
合計			6,485名	

(6) 夜間開園事業

開園時間を延長し、6月にはホテル観賞やキャンドルナイト、8月には動物や里山の自然、12月にはイルミネーションなど夜を楽しむことのできる事業を実施した。

事業名	実施日数	入園者数
①ホテルと夜とファミリーパーク 2010	2日	5,300名
②夏の夜間開園	4日	7,002名
③冬の夜間開園	1日	79名
合計		12,381名

(7) 広報事業

ファミリーパークに関する各種情報や実施事業の案内など情報の発信に努めた。

2ヶ月ごとにファミリーパーク通信「グルーミング」を発行し、市内全小学生に配布した。また、富山市広報課を通じて年間120件の報道リリースを行い、新聞、テレビ、ラジオなどの取材に積極的に対応した。

このほか、昨年度、リニューアルしたホームページを活用し、園内の最新の情報を発信することで117,342件のアクセス数があった。

近隣県にも、雑誌や新聞、ラジオ等の媒体で周知をおこなった。

事業名	実施日数	発行部数
①情報誌「グルーミング」	6回	150,000部
②インターネット・ホームページ	随時更新	——

(8) ふるさと雇用再生特別交付金事業（ファミリーパーク PR 事業）

市内および近隣の幼稚園保育所102施設（昨年度59施設）に出向き、里ノ助の出前教室を実施し、里山の大切さやいのちの尊さを伝え、ファミリーパークのPRを実施した。

事業名	実施日数	参加者数
①里ノ助出前教室	101日	12,400名

5. 自主事業

(1) 立案した経営・物販企画の実施

園内の資源を活かしたイベントや販売、新規イベントなどで賑わいの創出を行った。

事業名	実施日数	数
① 呉羽そば手打ち体験	2日	7名
② そば打ちワークショップ「あなたの蕎麦に」	1日	15名
③ 園内で採れた、旬の食材の販売	33日	264袋
④ オリジナルグッズの販売	—	—
⑤ 里山ショップの臨時開設（西口）	5日	—
⑥ 移動販売車（悠々ワゴン）でのアイスクリーム販売	22日	5,319個

6. 売店・食堂等売上状況

(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

施設名		売上高	床面積・卓数・脚数	
販売収入	売店	きりん食堂	3,217,784 円	109.87 m ²
		かふえムー	758,034 円	55.00 m ²
		2店計	3,975,818 円	164.87 m ²
	食堂	きりん食堂	3,129,430 円	309.13 m ² 24卓 120脚
		かふえムー	5,837,280 円	250.00 m ² 26卓 105脚
		2店計	8,966,710 円	559.13 m ² 50卓 225脚
	自主事業収入		5,105,540 円	悠々ワゴン、ゆらゆら乗馬、出店他
その他の収入	ベビーカー使用料		476,400 円	60台
	バーベキュー使用料		922,500 円	10人掛×1卓・8人掛×9卓 82脚
	自動販売機手数料		3,475,451 円	25台
	その他		714,720 円	移動販売手数料、テナント料等
収入計		23,637,139 円		

7. 役員について

(1) 役員数8名（平成23年4月1日現在）

理事長	1名	（神田副市長）
常務理事	1名	
理事	5名	（教育長、企画管理部長、財務部長、商工労働部長、建設部長）
監事	1名	（会計管理者）

(2) 役員の変動

平成23年	3月31日	理事	廣瀬 隆正	退任
平成23年	3月31日	理事	高道 裕之	退任
平成23年	3月31日	理事	島倉 憲夫	退任
平成23年	3月31日	監事	塩原 喜和	退任
平成23年	4月1日	理事	神田 昌幸	就任
平成23年	4月1日	理事	前澤 保	就任
平成23年	4月1日	理事	高柳 彰	就任
平成23年	4月1日	監事	釣谷 祐一	就任

8. 理事会等議決事項について

ア. 平成22年5月25日

評議員会 平成21年度事業報告及び収支決算について

イ. 平成22年5月31日

理事会 平成21年度事業報告及び収支決算について

ウ. 平成23年3月24日

評議員会 平成23年度財団法人富山市ファミリーパーク公社事業
計画及び収支予算について

エ. 平成23年3月24日

理事会 平成23年度財団法人富山市ファミリーパーク公社事業
計画及び収支予算について

オ. 平成23年4月1日

評議員会 財団法人富山市ファミリーパーク公社理事の選任について

カ. 平成23年4月14日

理事会 財団法人富山市ファミリーパーク公社理事長、常務理事の
互選及び評議員の選出について

9. 基本財産等の管理について

基本財産 30,000千円（証書は富山市役所出納課にて保管）

- ① みずほ信託銀行 10,000千円
預入期間 平成20年4月10日～平成25年4月10日
- ② 中央三井信託銀行 10,000千円
預入期間 平成23年4月20日～平成24年4月20日
- ③ なのはな農業協同組合 10,000千円
預入期間 平成20年3月31日～平成25年3月31日

退職給与引当金 97,035千円（証書は富山市役所出納課にて保管）

- ① 富山第一銀行 10,000千円
預入期間 平成22年6月2日～平成23年6月2日
- ② 北陸銀行 10,000千円
預入期間 平成22年6月2日～平成23年6月2日
- ③ 富山信用金庫 10,000千円
預入期間 平成22年6月2日～平成23年6月2日
- ④ 北國銀行 10,000千円
預入期間 平成23年3月30日～平成24年3月30日
- ⑤ 三井住友銀行 6,346千円
預入期間 平成23年3月31日～平成24年3月31日
- ⑥ みずほ銀行 10,000千円
預入期間 平成23年2月24日～平成24年2月24日
- ⑦ 富山銀行 7,988千円
預入期間 平成23年2月27日～平成24年2月27日
- ⑧ 北陸労働金庫 10,000千円
預入期間 平成23年3月28日～平成24年3月28日
- ⑨ 福井銀行 6,356千円
預入期間 平成23年3月26日～平成24年3月26日
- ⑩ 富山市農業協同組合 10,000千円
預入期間 平成23年3月18日～平成24年3月18日
- ⑪ ゆうちよ銀行 6,345千円
預入期間 平成23年3月22日～平成24年3月22日